

新社長登場

New President



権田金属工業

権田有紀子氏

父親で前社長の権田源太郎氏が昨年11月10日に

近い場所で生産プロセスを学んだ。これはメーカ

ーや銅・黄銅丸棒が重量ベースで6割を占め、他

顧客とコミュニケーションを密に取りながら実

施。黄銅は自社で製造な

どができる点を生かして成分調整を行い、材料の

(新保 貴史)

生産する。少量多品種のそ
ろえ、試作向
けで少量の発
注にも応える
など「小回り
よく顧客をフ
ォローできる
点を強みとし

▽権田有紀子(ごんだ
ゆきこ)氏 1992年10月10日
生誕、神奈川県出身。1992年10月10日
22年常務取締役、22年12月
18年権田金属工業入社、
年千葉大文卒、白銅入社。
・ゆきこ)氏 1992年10月10日
22年常務取締役、22年12月
18年権田金属工業入社、
年千葉大文卒、白銅入社。

趣味は読書で、特に志賀直哉や森鷗外、梶井基次郎といった明治・大正期の文学作品が好きだとい

死去したのを受けて4代目社長に就任した。進取の思いで、顧客と一緒に将来性のある面白い分野を開拓していきたい」と意気込みを語る。

入社後すぐに配属された製造部門では工程管理を担当し、実際に現場に

入社は創業100年を超える老舗伸銅メーカ。主な品種は銅ブスバ

扱いやささなどの顧客の要望に添える。完成すれば自動車や船舶など幅広い分野で使え、今後は試作開発や需要調査などを経てニーズを捕捉したい

顧客とともに需要開拓

「では現場をまず知るべき」と源太郎氏の考えから、その後、異動した営業部署でも現場での経験は生かすことができたと振り返る。

同社は創業100年を超える老舗伸銅メーカ。主な品種は銅ブスバ

「顧客とコミュニケーションを密に取りながら実

他に、耐震用建材などへの用途開発を進めるマクネンウム板の研究も続ける方針。今後も「新しいものに取り組みなければ時代に取り残される」との考えで、ニッチ分野をターゲットにした需要掘り起こしを顧客と協力して取り組む。